



投資環境

2025年9月8日

石破首相辞任、今後の展開は？

□ 党内の圧力を受け、辞任に追い込まれる

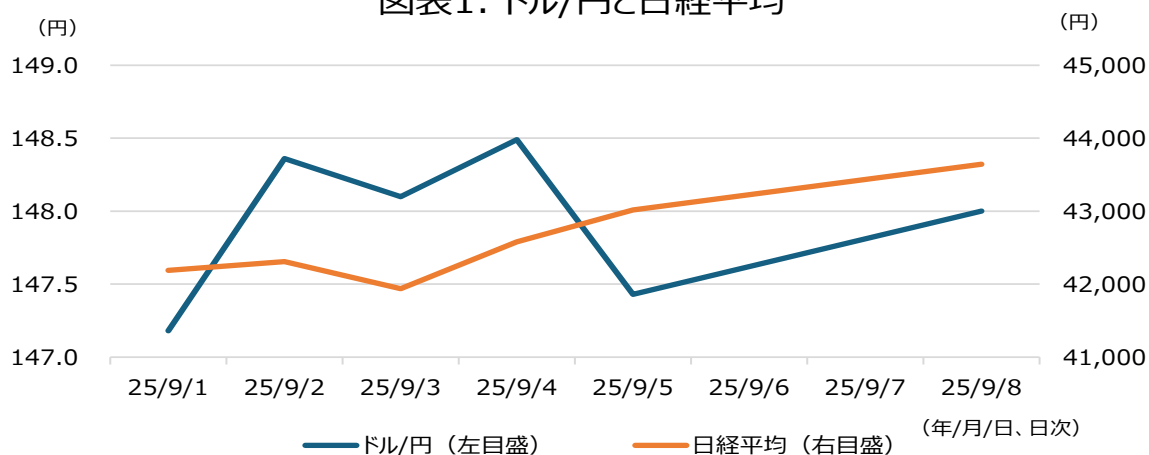
9月7日、石破首相が辞任を表明しました。昨年の衆院選、今年の東京都議選と参院選の3連敗を受けて、同氏の責任を問う声が党内外で強まっていました。8月に入り内閣支持率が反転するなど、首相に続投を期待する声もありましたが、9月8日に自民党総裁選の前倒しが決まりそうな情勢となったことを受けて、党内の圧力に屈する形で最終的には辞任することになりました。

□ 金融市場の反応は

石破首相の退陣を受けて、8日の金融市場では、円安が進行し、株価は大きく上昇しています(図表1)。国内政治が不安定になることへの警戒感から円が売られる一方、積極的な財政政策を掲げる候補者が新しい総裁・首相に就任するとの期待から株が買われる動きになっています。

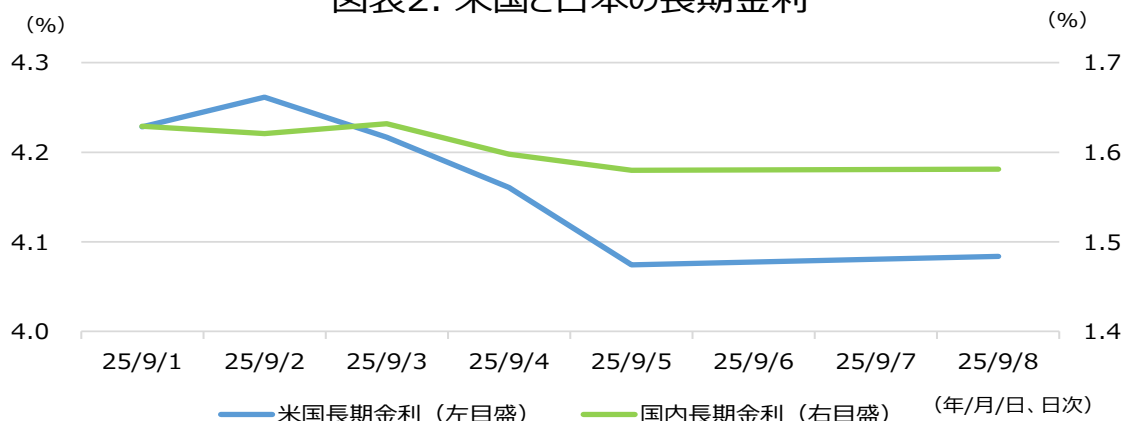
また、国内金利は、先週の米国市場で大きく米金利が低下したにもかかわらず、横ばいで推移しています(図表2)。財政健全化に前向きな考えの石破首相が辞任したことで、国内の財政が悪化するとの懸念から、債券を買う動きは限定的になっているとみられます。

図表1. ドル/円と日経平均



(注) データは25年9月1日～25年9月8日まで
(出所) Bloombergよりデータ取得し、しんきん投信作成

図表2. 米国と日本の長期金利



(注) データは25年9月1日～25年9月8日まで
(出所) Bloombergよりデータ取得し、しんきん投信作成



□ 選挙の形式は「フルスペック」に、小泉・高市氏が軸に？

当面の焦点は、総裁選に誰が出馬し、候補者がどのような政策を掲げるかです。9月8日時点では、茂木前幹事長が出馬を表明したほか、小泉農水大臣、高市前経済安保大臣、林官房長官、小林元経済安保大臣が候補者として取り沙汰されています。

今回の総裁選は、「フルスペック形式」で実施される見込みです。フルスペック形式とは、国会議員票と同数の党員票で総裁が選出される形式であり、選挙期間も長くなるため、討論会などでの国民への露出機会も増えます。実際に「フルスペック形式」での実施となった場合、党員票を省く「簡易形式」に比べ、党員に人気のある候補者が有利になります。各種世論調査では、小泉氏や高市氏の人気が高くなっています。世論調査の数字だけでは、両氏が党員に人気があると断定することはできませんが、2024年の総裁選で高市氏は党員投票で1位、小泉氏は同3位であったことから、多くの党員の支持を獲得することが予想されます(石破氏が2位)。そのため総裁選は、人気のある両氏を軸に展開することが予想されます。

□ 減税政策や金融政策に対する言及が注目点

8日の金融市場では、前回の総裁選で積極的な財政政策を掲げた高市氏が当選することへの思わくから、株高が進みました。同氏が出馬した場合、どのような政策を打ち出すかが注目されます。とくに、消費税などの減税政策を打ち出すのかどうか注目材料となりそうです。もう一人の有力候補である小泉氏は、前回の総裁選では、「岸田政権の経済政策を基本的に踏襲」と主張するなど、目立った経済政策を打ち出すことはありませんでした。ただ、参院選で減税を打ち出す政党が躍進したことを意識して、同氏も減税政策を掲げる可能性があります。

また、前回の総裁選で高市氏は「金融緩和を続けるべき」と、日銀の利上げに反対する姿勢を示しました。今回の総裁選でも、同氏を含めて候補者から、金融政策に対して何らかの言及があるかも注目されます。

□ 今後のスケジュール

自民党総裁選は、10月上旬頃に実施される見込みです。その後、総理大臣指名選挙が行われ、10月中には新内閣が発足することが見込まれます。自民党・公明党は、現状、衆議院・参議院ともに少数与党です。そのため、新総裁が必ず新首相になれるかどうかは不確実です。野党が一致すれば、自民党の新総裁以外の候補者を首相に選出することも可能です。他方、連立政権が拡大する展開も想定されます。現状では、日本維新の会が与党入りする可能性が取りざたされています。同党は、災害時に首都機能を代替する「副首都構想」を掲げており、同構想の実現を条件に、与党入りする可能性があります。新総裁選出後も、首相指名選挙に向けて、与野党の駆け引きが行われ、不透明な状況が続く可能性があります。

当面の国内政治は不安定な動きが続きそうですが、新政権が発足した後は、政治は安定に向かう可能性があります。次の自民党総裁選は2027年秋、参院選は2028年夏、衆議院の任期満了は2028年秋と、今後約2年間は大きな政治イベントが予定されていないためです。衆議院が解散され、衆院選が実施される可能性はあるものの、新政権が発足した後は、当面政治動向は落ち着くことが予想されます。



しんきんアセットマネジメント投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第338号
 Shinkin Asset Management Co., Ltd. 加入協会／一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
 〒104-0031東京都中央区京橋3丁目8番1号 URL : [https:// www.skam.co.jp](https://www.skam.co.jp)

(参考) 今後の政治イベント

日程	政治イベント
9月中旬～下旬?	自民党総裁選告示
10月上旬?	自民党総裁選開票
10月中?	首相指名選挙、新内閣発足
12月中?	2026年度の税制改正大綱閣議決定(減税方針が決まる可能性)
2027年9月～10月	自民党新総裁の任期満了、総裁選
2028年2～3月	日銀正副総裁人事
2028年夏	参議院選挙
2028年秋	衆議院の任期満了

(注) 正確を期しておりますが、変更になる場合がありますので、実際の発表にはご注意ください。

(出所) 各種報道より、しんきん投信作成

(ストラテジスト 澤村一樹)



しんきんアセットマネジメント投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第338号
Shinkin Asset Management Co., Ltd. 加入協会／一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
〒104-0031東京都中央区京橋3丁目8番1号 URL : [https:// www.skam.co.jp](https://www.skam.co.jp)

＜本資料に関してご留意していただきたい事項＞

- ※本資料は、ご投資家の皆様に投資判断の参考となる情報の提供を目的として、しんきんアセットマネジメント投信株式会社が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。
- ※本資料は、信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。また、いかなるデータも過去のものであり、将来の投資成果を保証・示唆するものではありません。
- ※本資料の内容は、当社の見解を示しているに過ぎず、将来の投資成果を保証・示唆するものではありません。記載内容は作成時点のものであり、予告なく変更する場合があります。
- ※投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の補償の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。
- ※投資信託は、値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、預金と異なり投資元本が保証されているものではありません。運用による損益は全て投資者の皆様に帰属します。
- ※特定ファンドの取得のお申込みに当たっては、販売会社より当該ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめ又は同時にお渡しいたしますので、必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。

【お申込みに際しての留意事項】

■投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式や債券等の値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、預金と異なり投資元本が保証されているものではありません。運用による損益は全て投資者の皆様に帰属します。

また、投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面をよくご覧ください。

■投資信託に係る費用について

(お客様に直接ご負担いただく費用)

- ◆ ご購入時の費用・・・購入時手数料 **上限 3.3%(税抜 3.0%)**
- ◆ ご換金時の費用・・・信託財産留保額 **上限 0.3%**

(保有期間中に間接的にご負担いただく費用)

- ◆ 運用管理費用(信託報酬)・・・純資産総額に対して、**上限年率 1.628%(税抜年率 1.48%)**
- ◆ その他の費用・・・監査費用、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、有価証券売買時の売買手数料等および外貨建資産の保管等に要する費用は、ファンドより実費として間接的にご負担いただきます。また、投資信託証券を組み入れる場合には、お客様が間接的に支払う費用として、当該ファンドの資産から支払われる運用管理費用、投資資産の取引費用等が発生します。これらの費用につきましては、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。投資信託に係る上記費用(手数料等)の合計額については、ご投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、しんきんアセットマネジメント投信が運用する全ての投資信託のうち、ご負担いただくそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資される際には、事前に投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面をよくお読みください。

※本資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。